

2026年6月リカレント委員会オンラインセミナーご報告

日 時	2026年6月27日(土)10:00～12:00 参加者 43 名(参加登録者含む) 形式 Webex
テーマ	上司のコミュカ大全～人も組織も動き出す“共感型マネジメント”の実践知～
内 容	1 主催者挨拶 2 参加者自己紹介 3 ゲスト講演 4 ブレイクアウトセッション 5 まとめ 6 その他
講演者	澤田 清恵 (さわだ きよえ)氏 カドル株式会社 代表取締役 
司会進行	渡邊明男 (一般社団法人 社会人基礎力協議会リカレント委員会委員長)
主催者挨拶 セミナー概要 説明	渡邊リカレント委員長 今回は、カドル株式会社 代表取締役 澤田清恵様にご登壇頂きます。世代間ギャップ、1on1、心理的安全性、離職防止、マネジメント疲れ…。正解の見えない時代だからこそ求められる、“人を活かすコミュカ”について、一緒に学び、考える機会になればと思います。なお、ブレイクアウトセッションは講演の最後ではなく途中で実施します。ご了承ください。
講演	プロフィール 30年以上にわたり人事領域に従事。日立システムズ、ソフトバンク等で採用・制度・育成・組織開発に携わり、延べ4万人以上の人材育成・キャリア支援に関わる。 ソフトバンク時代には「汐留の母」と呼ばれ、多くの社員や管理職から相談を受ける存在として活躍。2016年にカドル株式会社を設立後は、人と組織の可能性を引き出す“共感型コンサルティング”を展開。研修・コーチング・組織支援を通じて、多くの企業の人材育成・組織変革を支援している。 講 演 ① なぜ、“正論”は人を動かさないのか ➢ 伝えているのに動かない ➢ 正しさ(認知)だけでは足りない ➢ 動かす鍵は感情と構造の両輪 ② 正しさより、優しさが人を動かす ➢ どれほど優れた教育も、納得し、心が動かなければ、人は主体的に行動しない ③ 心理的安全性を“一回の会議”でつくる ➢ 心理的安全性とはチーム内で対人リスク(無知・無能・否定的とみられる不安)を取っても安全だとメンバーが共有して信じられる状態。失敗しても詰められない、否定されない。 ④ 会議で効く4つの小さなしかけ ➢ “わからない”を歓迎する一言から始める ➢ ワンワードオープニング／チェックイン(全員に最初の30秒を配り声を出す状態に) ➢ 受け止めてから返す ➢ 結論ではなく“問い”で終える ⑤ 部下が“自ら動く”問いかけの型・・・「教える」から「引き出す」へ ➢ 現状 事実を本人の言葉で説明する ➢ 意味 目的とつながりを直す ➢ 選択 次の一步を本人が選ぶ

	⑥ 1 on 1 最初の3分の使い方 本音が出るかどうかは冒頭の数分で決まる ➤ 0～1分 ほぐす(情動的共感)⇒1～2分 委ねる(自律性)⇒2～3分 聴く姿勢(関係性) ➤ やりがちなNGは、いきなり詰める、進捗確認だけで終える、上司が9割しゃべる、評価・ダメ出しから入るなど。 ⑦ 世代間ギャップを“通訳”する視点～ギャップの正体は「価値観の翻訳ミス」 ➤ 通訳には3つの型がある - 相手の言葉に直す、背景(なぜ)を添える、指示を“問い”に変える - 原則: 世代というラベルで語らない。目の前の一人を観察しその人の価値観に翻訳する。 ⑧ “対話の型”として、組織に実装する～共感を個人のセンスから組織の再現性へ ➤ 数値化だけに頼らず「行動の変化」で捉える 相談される頻度、部下の発言量、エンゲージメント、定着率など ⑨ 共感力で、優しい社会を創る ➤ 共感とは2種類を使い分ける⇒認知(正しさ)と情動(気持ち)の往復で人は動く ➤ 安全な場を小さな仕掛けで⇒“わからない”を歓迎し、問いで終える ➤ 指示を問いに変える⇒自律性を支え、自走と本音を引き出す
ブレイクアウトセッション	【グループ1】 胸が熱くなるお話であった。今日のお話に出てきたような会社が増えてくれればよい社会になると思った。 【グループ2】 大人が今日のような未来を創っていかなければ次の世代の子供たちに続いていけないのであろうというところをすごく考えた。「どう問いを出すか」など大変ありがたい時間であった。 【グループ3】 常々正しいことをその時伝えることが必ずしも正しくないと思っている。言うべきタイミングや相手のタイミングが大事と思う。正論は人を動かさないというその言葉を思わず書き留めた。すべてにおいて共感できた内容であった。 【グループ4】 共感力と一口に言っても種類が多々あること、管理職の方々の悩みも聞くことができ大変参考になった。
まとめ	正論は人を動かさない、から始まり心理的安全性の大切さや、部下が自分から動く問いかけなど、心に残るお話が多かったと思う。共感力についても納得であった。 ご都合が悪く参加できなかった方や再度聞いてみたい方向けに追ってアーカイブ動画をお送りする。ぜひ参考にさせていただきたい。
その他	次回のご案内 年次大会 テーマ 「AI との協業を考え抜く」 日 時 2026年8月21日(金)15:00～18:30(予定) リカレントセミナー 日 時 2026年10月24日(土)10:00～12:00 講 師 山崎 紅(やまざき あかし) 氏 人材開発コンサルタント 成蹊大学経営学部特別客員教授